

令和元年度 生涯学習事業

日野町町民大学講座

受講生募集！

第1回

日時 6月6日(木)
19:30～21:00

場所 わたむきホール虹

日野の文化と教育のこれから

～日野町出身の二人の教育家
中森孟夫と牧野虎次に学ぶ、そして～
同志社大学政策学部大学院
総合政策科学研究科教授

井口 貢 さん



なかもり たけお 氏
中森 孟夫 氏

明治元年 10 月 5 日生れ、没昭和 21 年。享年 79 歳。日野町深山口出身。明治 23 年京都に泰西簿記学校、明治 35 年、京都橘大学の前身「京都女子手芸学校」を創設。大正 3 年からハワイ在住日本人の教育にも携わる。

まきの とらじ 氏
牧野 虎次 氏

明治 4 年 7 月 4 日生れ。没昭和 35 年。享年 92 歳。日野町西大路出身。昭和 16 年から昭和 22 年、同志社大学の総長を務めた。京都府教育委員などを歴任し、昭和 29 年京都市名誉市民賞受賞。



第2回

日時 6月27日(木)
19:30～21:00

場所 わたむきホール虹

中小企業物づくりの現場から

～リチウムイオン開発物語～
(有)エイ・エス テクノロジー
代表取締役

澤田 明伸 さん



第3回

日時 7月4日(木)
19:30～21:00

場所 わたむきホール虹

笑う門には福来る

～落語のイロハ・ちりとてちん～

素人落語 福車組 酒楽家みっち

平井 道夫 さん



第4回

日時 7月18日(木)
19:30～21:00

場所 わたむきホール虹

気がつけば近江弁

～ふるさとのことばは文化財～
元岐阜放送アナウンサー
元びわこ学院大学短期大学部非常勤講師

神田 卓朗 さん



第5回

日時 8月8日(木)
19:30～21:00

場所 わたむきホール虹

龍から学ぶ幸せの生き方

～人類が伝説に託した知恵と知性～

天井画(龍) 絵師

斎灯 サトル さん



県外
研修

日野町出身の二人の教育家の軌跡を訪ねる

～ 同志社大学・京都橘大学他 訪問予定 ～

日時 9月19日(木) 出発 7:30～(予定)

費用一人 5,000 円、参加募集人員 40 名

※町民大学講座 5 回の内 2 回を申し込まれた方を優先に、後日、申込案内をいたします。



対象者 日野町に在住・在勤の方

受講料

一人 3,000 円 (全 5 講座)

※1 講座ごとの受講は各回 1,000 円。申込後の返金はいたしません。代理参加は可能です。

申込
期限

令和元年 5 月 31 日(金)まで

※第 1 ～ 5 回は当日の申込も可能です

受付
場所

・日野町立中央公民館 (日野町教育委員会生涯学習課内)
・各地区公民館

主催・お問い合わせ先

日野町立中央公民館 (日野町教育委員会 生涯学習課内)

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目 1 番地

TEL. 0748-52-6566

FAX. 0748-52-4665

日野町町民大学講座 講師と講演内容のお知らせ

お問い合わせは：日野町立中央公民館〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地 TEL. 0748-52-6566 FAX. 0748-52-4665
会場：各回ともわたむきホール虹・ふれあいホールにて

第1回

6/6(木)
19:30～



同志社大学政策学部大学院・総合政策科学研究科教授 **井口 貢**さん

日野の文化と教育のこれから～日野町出身の二人の教育家・中森孟夫と牧野虎次に学ぶ、そして～

【講師】1956年米原市生まれ。79年滋賀大学経済学部卒業、82年同大学院経済学研究科修了。83年県立日野高校、87年県立彦根東高校で教鞭をとり、後に岡崎女子短期大学、岐阜女子大学、京都橘女子大学を経て、2007年より同志社大学政策学部・総合政策科学研究科教授として活躍。主な著書に『くらしのなかの文化・芸術・観光』（法律文化社）『観光文化と地元学』（古今書院）『まちづくり・観光と地域文化の創造』（学文社）など。

【内容】京都橘大学の前身「京都女子手芸学校」が創設されたのは1902（明治35）年、創設者は日野町深山口出身の中森孟夫でした。1941（昭和16）年から1947（昭和22）年、同志社大学の総長を務めたのは日野町西大路出身の牧野虎次でした。明治から昭和にかけて日本の教育力向上に生涯をかけた二人の偉人に学び、さらに柳田國男、司馬遼太郎の導きを糸にし、日野町が向かうべき文化と教育とは何かを探ります。

第2回

6/27(木)
19:30～



(有)エイ・エス テクノロジー 代表取締役 **澤田 明伸**さん

中小企業物づくりの現場から ～ リチウムイオン開発物語 ～

【講師】1948年大阪府堺市生まれ。1970年関西大学工学部卒業。先代の卸業の在り方に限界を感じ、1975年製造業に業態転換。プラスチック業界では後発だったため、ニッチトップを目指し、製品の薄肉成型で電池業界に参入。世界初のソニー・ウォークマンのガム型二次角電池の封止部パーツ（ゴム弁、ガスケット）を開発。高性能・超精密さを要求されるLi-ion小型二次電池のガスケットを開発・携帯電話に採用。その後EV（電気自動車）用の、大型Li-ion電池の樹脂パーツづくりを通じてビジネスモデルを構築。

【内容】日本の経済を支え続けている中小企業。世界で唯一のリチウムイオン電池用ガスケットを開発し、その技術は世界を驚かせました。ウォークマンからEV（電気自動車）まで、その開発物語と技術について語っていただきます。

第3回

7/4(木)
19:30～



福車組 酒楽家みっち **平井 道夫**さん **笑う門には福来る**～落語のイロハ・ちりとてちん～

【講師】京都で生まれ、大阪島之内に育つ。小学校3年生の時、たまたま聴いた落語の面白さにはまって以来の落語ファン。13年前、天満天神繁昌亭柿落としの際、故桂福車師匠に出会い『桂福車落語教室 福車組』に入門。自称、福車組の学級委員長兼風紀委員。東桜谷公民館では平成29、30年度に文化祭の寄席にて落語を演じる。

【内容】素人落語（「ちりとてちん」他）と、酒楽家みっちさんの落語の世界を語っていただきます。どうぞお気軽にお聞きください。

初めて聴いた落語の衝撃。桂 福車師匠との出会い。落語への憧れ、仲間との出会い、稽古、そして初高座へ。落語から学ぶこととは・・・。

第4回

7/18(木)
19:30～



元民放局アナウンサー 元びわこ学院大学短期大学部非常勤講師 **神田 卓朗**さん

気がつけば近江弁 ～ふるさとのことばは文化財～

【講師】1942年生まれ。大阪市出身。岐阜放送で31年間アナウンサーを務めたあと、岐阜女子大学文化創造学部教授として日本語表現分野に取り組んだ。

【内容】共通語が全国的に浸透し、各地の方言が使われなくなっている。2012年から担当したびわこ学院大学短期大学部の授業の中で、毎年1回、学生たちが東近江市老人クラブ連合会の方々から「湖東の近江弁」を学ぶ機会を設けた。「いんごもち畑におったで」「いつまでぎつとばるんや」「お昼からガチャコン乗って八幡行かへん？」「おんがはほんまくっさいでー」「すてんしょに買い物に行ってくるわ」「はよ寝んとガオーが来るぞー！」など土地ならではの多くの方言を記録。この講座では京の都の時代からの言葉の伝播をはじめ、地域文化の象徴である近江弁の特色や素晴らしさを探ってみます。

第5回

8/8(木)
19:30～



天井画絵師 **斎灯 サトル**さん **龍から学ぶ幸せの生き方**～人類が伝説に託した知恵と知性～

【講師】1977年生まれ静岡在住。創作をするかたわら、依頼を受け講演でも活動。墨絵パフォーマンスでは5分で畳数枚分を早描きし、涙する観覧者も多い。「みこと塾」心学教室主宰。歴史あるお寺の天井画を数件制作。個人の制作枚数としては日本一。年間一千万人参拝の江島神社の重要文化財のある奉安殿、東海地区最大64帖の天井画などを制作。

【内容】日野町には信楽院と遠久寺、摂取院、清徳寺に龍の天井画が描かれています。そして現在、多くの寺社に天井画を描き続けている絵師が斎灯サトルさんです。絵師になるきっかけや、龍の天井画を描く思い、天井画の歴史などについて語っていただきます。会場では墨絵のパフォーマンスも披露いただきます。

✕ キリトリ ✕

令和元年度 日野町町民大学講座 受講申込書				希望講座に✓をつけてください	領収書	
氏名	フリガナ		性別	年齢	☐ 全5回 ☐ 第1回 ☐ 第2回 ☐ 第3回 ☐ 第4回 ☐ 第5回	令和元年 月 日
			男・女			才
住所	〒	連絡先				金 , 000円
						但し、町民大学講座受講料として
						日野町会計管理者 印

託児、手話通訳、車イスでの入場などをご希望される場合は事前にご連絡ください。いずれも無料です。

申込受付窓口（□生涯学習課 □日野・東桜谷・西桜谷・西大路・鎌掛・南比都佐・必佐 公民館） ※受講申込にかかる個人情報については町民大学講座事業以外の目的には使用いたしません。